

2018日本パッケージングコンテストで入賞

日本パッケージングコンテストとは、日本の包装分野における最大のコンテストです。優れたパッケージとその技術開発・普及を目的として毎年開催されています。デザインからロジスティクスに至るまでのあらゆる機能から見てすぐれた包装が選定されます。

GOOD PACKAGING

2018 包装技術賞/適正包装賞
サッポロビール株式会社様と共同出展品

「ビールギフトカートン包装資材廃棄ロス削減形態」

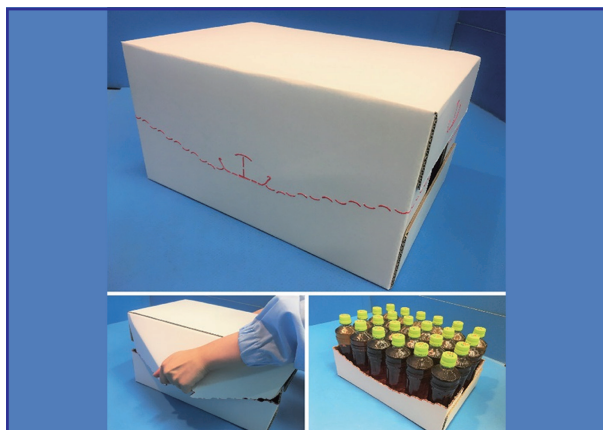


商品改定のために廃棄される在庫資材ロスを最小限に抑えるため、環境対応にも配慮した合理的なギフト形態を開発しました。新たに商品識別パーツ（POP）を追加し、蓋に開けた窓穴から商品情報を認識できるようしています。識別パーツを差し替えることで、同型ギフト全ての蓋資材が共通化を図れます。

GOOD PACKAGING

2018 包装技術賞/ロジスティック賞
株式会社伊藤園様と共同出展品

「525PET×24 簡易開封・陳列（リーフカット）」

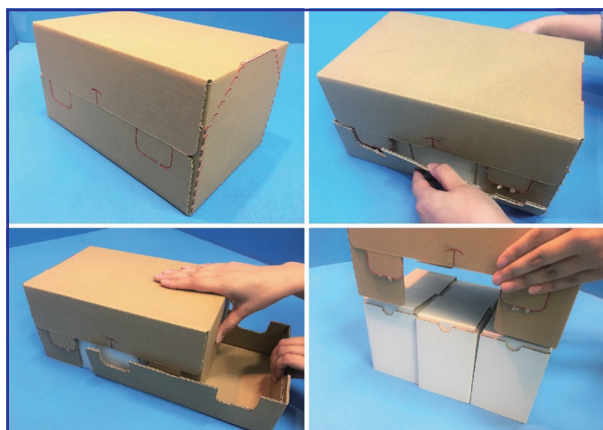


シェルフレディパッケージングにおいて、開封性と耐圧強度の向上を図っています。波型形状の切刃を入れることにより簡単できれいに開封できます。また、波型形状に工夫をし、段積みした際、上からの圧力が逃げるようにしています。さらに、波型形状の切れ刃を反転させ、端を若干ずらすことにより、横からの衝撃で外装箱が開かないようしています。

GOOD PACKAGING

2018 包装部門賞/POP・店頭販売包装部門賞

「簡易陳列包装箱」



店頭でのオペレーション作業（品出し、陳列）を軽減できる箱形態を開発しました。商品ひとつひとつを取り出して棚に並べることなく、箱単位で一気に品出しと陳列ができるようになっています。誰でも簡単に開封、陳列が可能なシンプル構造となっています。段ボールトレイは棚に残さず、商品のみを陳列します。